

すこやか

第 195 号
1 月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



新春のご挨拶

事業管理者・院長
荒川 創一

- 日本泌尿器学会専門医・同指導医
- 日本感染症学会感染症専門医・同指導医
- 日本透析医学会専門医
- 日本性機能学会専門医
- 日本性感染症学会認定医
- 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
- 日本化学療法学会抗菌薬臨床試験指導医
- ICD (Infection control doctor)

献」を優先課題として、努力してまいりました。その結果として、平成28年4～11月の救急車搬送数は、1,861件となり、前年同時期比で19%増加しています。ほかの患者さんの診察・処置や緊急手術でどうしても当直医の手が塞がっている場合などに、他病院に回っていただくことが時にはありますが、ご理解をお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。
新春を寿ぎ、本年1年の安寧を祈念申し上げます。

先進医療機器導入

三田市民病院はこのたび、手術支援ロボットであります「ダヴィンチXi」という最新の先進医療機器を導入しました(2頁参照)。

当院は従来、心臓センター、内視鏡センター、関節センターなどを中心に、先進医療を実践し、地域住民の皆さんの「命と健康の砦」として機能してきたところでございます。本年はなお一層、信頼いただける医療のご提供ができるよう、職員一同、精励していく所存であります。

救急医療への貢献

私自身、昨年4月に事業管理者・院長として神戸大学医学部附属病院から当院に異動し、やがて10か月となります。まずは、「救急医療への貢

近隣医療機関との一層の連携

昨年10月に、兵庫県の地域医療構想が公表され、三田市が位置する阪神北医療圏域北部は、神戸市北区などとの連携が重要であることが明記されました。市民病院としましては、神戸市北区の病院等と今まで以上に共同して、この地域の皆さんの医療が円滑に進められますよう、歩んでまいります。もちろん、三田市内あるいはその隣接地域の開業医さんや他病院とはより一層の協力を図り、病診・病病連携を深めていきます。「かかりつけ医さん」から患者さんをご紹介いただき、ご満足いただける診療を行うと共に、どなたに対しても「体と心の両方に優しい急性期医療」を推進してまいります。

「地域の皆さんに安心をもたらす、高度で良質な医療をご提供する」を合言葉として、本年も職員一丸となって頑張っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

Topics

三田市民病院トピックス

手術支援ロボット 「ダヴィンチXi」の 導入について

市民病院では患者さんに、より安全で最先端の医療を提供するため、このたび手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入しました。最新型である本機種の導入は、阪神北地域(伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町)では初、兵庫県下では2施設目です。

ダヴィンチとは？

ダヴィンチの操作は、以下のように行います。麻酔をした手術台上の患者さんの腹部に5～8mmの^{あな}孔を数か所開け、先端に内視鏡や手術器具を装着したアームを挿入します(写真右)。執刀する医師は操縦席に座り(写真左)、高倍率・高画質な3D立体画像を見ながら、手元のコントローラーから手術器具を遠隔操作し、手術をします。スタッフはモニターで執刀する医師と同じ画像を共有できます(写真中央)。

ダヴィンチ手術の特徴

① 患者さんへの負担が少なく、 精緻な手術が可能

従来の手術に比べて傷が小さく、良好な視野で操作できますので、手術中の出血は抑えられ、手術後の痛みも少なくなります。したがって、回復は早く、入院期間は短くなり、患者さんの負担が軽減されます。

器具は、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えており、安定した操作ができます。また、操縦席の医師は、高倍率・高画質の3D立体画像を見ながら、実際に患者さん



手術室に設置された「ダヴィンチXi」

の体内を覗き込み、中に手を入れて操作しているような感覚で手術ができます。拡大された視野などにより、細い血管の縫合や神経の剥離等を正確に行うことができ、精緻な手術が可能になります。

② 保険が適用

現在ダヴィンチによる手術のうち、泌尿器科で行う前立腺がんに対する前立腺全摘出手術と腎臓がんに対する腎部分切除手術は、健康保険が適用されています。費用は従来の手術と比較して、若干高額となりますが、高額療養費制度により実際の負担額は従来と変わりません(額は所得などにより変わります)。当院では、前立腺全摘出手術からダヴィンチ手術を始めます。

泌尿器科受診を希望される場合は、下記の外来診察時間にお越しください。

泌尿器科外来診察日：月・火・水・金曜
初診受付時間：8時15分～10時30分

臨床研修医による **座談会**

医師臨床研修制度は、医師免許取得後2年以上の臨床研修を行い、基本的な診療技術を修得するための制度です。当院は基幹型臨床研修指定病院として、毎年臨床研修医の受け入れを行っています。現在当院に勤務する研修医が、三田市民病院の魅力や日々の診療の中で感じたことについて、話し合いました。



重本医師



桑島医師



安部医師



檜谷医師

—— **医師を目指した動機についてお願いします。**

重本:けがをして手術を受けた経験から、自分も人を助けられる医師になりたいと思いました。

安部:学生時代、クラブのキャプテンなどで人の力になることの意義を感じていたので、職業でも人の力になれる医師を目指しました。

—— **研修で当院を選択した理由などお聞かせください。**

安部:居住地の近隣でなじみがあり、見学の時に大変雰囲気良かったです。また、敷地内外に緑が豊富なことも、研修の合間にホッとできると感じました。

立花:見学した病院の中で一番雰囲気が良く、医師間の垣根が低いと感じたからです。

—— **当院の研修内容についてはどのように思いますか。**

桑島:症例の多い一般的な病気を治療する機会が多く、基本的な診療技術の向上にとっても良い経験ができています。また、書類作成など事務的なことは必要最小限で、診療に集中することができており、ありがたいです。

安部:必修科目以外の部分は、一定程度、診療科と期間を選択できる柔軟なプログラムで良いと思います。当直は上級医の指導のもと適切な責任・役割の分担がなされていて、過度に負担を感じたり、逆に物足りなかつたりすることはありません。また、当院はフランクな医師が多く、働きやすいと思います。

—— **診療を行う中で感じていることをお聞かせください。**

檜谷:当院は上級医との接点が多く、仕事を進めやすいと思います。また、患者さんはとても優しい人が多いです。患者さんの訴えに寄り添えるようにしたいです。

桑島:患者さんの不安を取り除けるように、わかりやすい言葉できちんと理解してもらえそうな対応を心がけています。学んだ知識を十分に生かせるようにこれからも頑張りたいです。

当院は、今後も基幹型臨床研修指定病院として、広く医療福祉に貢献する医師の育成に努めてまいります。

Report

市民健康講座を開催しました

平成 28 年 11 月 23 日 (水・祝)、ショッピングセンター「フロア 88」において「市民健康講座」と題して、「市民講座」と「まちの保健室」を開催しました。

講座の第 1 部は、「最新の手術支援ロボット (ダヴィンチ) 導入による手術方法について」で、今回導入した最新の医療機器 (ダヴィンチ) について当院泌尿器科医師の宮崎部長より説明しました。第 2 部では、「最新の内視鏡検査」として、消化器がんについて当院の治療実績と最新の治療方法を中心に、消化器内科医師の脇部長と池田副医長からお話しました。「まちの保健室」では体組成や血圧の測定、健康相談を実施しました。

「公開講座」は例年市民病院内で開催しており、今回初めて病院外での開催となりましたが、当日は講座、保健室あわせて延べ 300 人を超える皆さんに参加いただきました。今後も病気予防や治療への理解が深まる情報を発信していきたいと考えています。



「まちの保健室」の様子



市民講座の風景(ダヴィンチ)



市民講座の風景(内視鏡検査)

新しい薬ができるまで

薬事委員会 薬剤科 (診療技術部 次長)
櫻井 美由紀



日本では、ひとつの薬ができるまでに 9 ~ 17 年の歳月と数百億円の費用がかかると言われてしています。新たに見つけられた薬になりそうな化合物のうち、本当に薬になるのは約 3 万分の 1 ほどです。その過程は次のとおりです。

基礎研究 新しい薬の候補を作る

研究室での実験を通じて、たくさんの新規化合物の中から、薬になりそうな化合物を選びます。

非臨床試験 動物で行う試験

ネズミ、ウサギ、イヌなどの動物を使って、選んだ新規化合物の効き目と安全性を調べます。

治験 人による臨床試験

動物実験で効果と安全性が確認されたものだけが「新しい薬の候補」となり、人による臨床試験に入ります。これが「治験」です。治験にも通常 3 つの段階があり、1 段階ずつ慎重に効果と安全性を調べます。

新しい薬の誕生

治験を繰り返し、効果と安全性が十分に確認されたものだけが厚生労働省に承認され、新しい薬 (新薬) が誕生します。

薬は多くの年月と費用をかけて生まれ、患者さんの手元に届きます。薬を効果的かつ安全に使うためには、正しく使うことが大切です。

医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。

おかもと まさのぶ

岡本 允信

- 診療科_循環器内科
- 専門分野_循環器全般、虚血性心疾患
- 資格_日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医



message

平成21年より循環器内科に勤務しています。皆様がより健康でいられるような手助けをすることをモットーに、救急診療から生活習慣病などの慢性疾患の診療まで、幅広く頑張っておりますので、よろしくお願ひします。

おじま ようじろう

小島 洋二郎

- 診療科_産婦人科
- 専門分野_婦人科一般
- 資格_日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医



message

当院で働き3年が経過しました。顔見知りの先生や薬剤師・看護師さんが増え、市民病院として地域の患者さんや近隣の医師のため役立てるように頑張っております。病気が治って患者さんと一緒に喜ぶのが目標です。今後ともよろしくお願ひします。



〈栄養科〉
中谷則行

栄養科では、健康に配慮しながら、少しでも食事を楽しんでいただけるようメニューを考えています。ここでは、ある日の夕食メニューから、「ミンチカツ」のレシピを紹介します。

夕食メニュー



- ◆ ご飯200g
- ◆ ミンチカツ (付け合せコーン)
- ◆ サラダ (じゃが芋、人参、きゅうり、みかん缶、リンゴ)
- ◆ 煮物 (木綿豆腐、絹さや、干し椎茸)

Recipe

ミンチカツ



材料(2人分)

- 合挽ミンチ…100g
- 木綿豆腐…30g
- 玉葱…50g • 卵…10g
- パン粉…20g • 塩…0.2g
- コンソメ…0.4g • 牛乳…10g
- [衣用]
 - 卵…20g
 - パン粉…20g
 - 小麦粉…20g
- 揚げ油…20g
- 減塩ソース…1ヶ
- 付け合せ…コーン30g
- 付け合せ塩…0.4g

作り方

- ① 玉葱をみじん切りにして、軽く炒めて冷ましておく。
- ② ボールに合挽ミンチ、卵、①の玉葱、木綿豆腐、パン粉、塩、コンソメ、牛乳を入れ、よくかき混ぜる。
- ③ お好みの大きさに丸めて形を整え、小麦粉、卵、パン粉の順につける。
- ④ 180度の油でキツネ色になるまで5分ほど揚げたらできあがり。付け合せのコーンを添える。

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



いわもと泌尿器科 〈岩本 孝弘 院長〉

平成16年にウッディタウンのあかしあ台に、泌尿器科専門の医院として開業しました。今年で13年になります。泌尿器科全般について適切な診断と治療を提供するのはもちろんですが、わかりやすい説明を心がけています。スタッフも優しく丁寧な対応につとめています。こわい、痛い、恥ずかしい検査などはまずありませんので、泌尿器科で気になることがあれば気軽に受診してください。病院での対応が必要な場合は、三田市民病院はじめ近隣病院、神戸大学など他の病院、ご希望があればこの病院にも紹介しています。平成28年4月、神戸大学泌尿器科医局同門の荒川創一先生が院長として来られました。大変心強く思います。



〒669-1323 三田市あかしあ台1-49-1
電話 079-553-8886
HP: <http://www.eonet.ne.jp/~iuclinic>
診察科目: 泌尿器科
休診日: 月曜・木曜・日曜・祝日、土曜日の午後

診察時間: 午前9時～12時 / 午後4時～6時

	月	火	水	木	金	土
午前	×	○	○	×	○	○
午後	×	○	○	×	○	×

(受付終了は初診30分前、再診10分前)



新任医師紹介

Introduction of new physician

当院では昨年10・11月より新しく医師を迎えました。より一層日々の診療に力を入れてまいります。



〈産婦人科〉

さとう さき
医師 佐藤 沙貴

出身地 兵庫県

趣味 旅行、
バスケットボール

10月より産婦人科医として赴任しました佐藤と申します。これから皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



〈皮膚科〉

きたに みこの
医師 木谷 美湖野

出身地 京都府

趣味 旅行、音楽

11月より皮膚科に赴任しました木谷と申します。患者様一人ひとりと向き合い、皮膚科医としてよりよい医療を提供できるように一生懸命がんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記 新年明けましておめでとうございます。今年は何年ですね。「酉」は縁起が良く「酒」を造ること、飲むことに関する文字に用いられます。収穫した作物で酒を造る所から「実」という意味もあるそうです。「酉(とり)乱す」ことのないよう飲酒はほどほどに、健康で「実り」ある1年にしたいなと思います。

すこやか(第195号)
平成29年1月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>